

あわじ石の寝屋緑地
ゾーニング図等 抜粋

目次

1 環境影響評価書（平成14年）

(1) 環境類型区分図	1
(2) は虫類調査ルート図	2
(3) 両性類調査ルート図	3
(4) 昆虫類調査ルート図	4
(5) 水生小動物調査地点図	5
(6) 猛禽類調査地点図	6

2 県立都市公園リノベーション計画

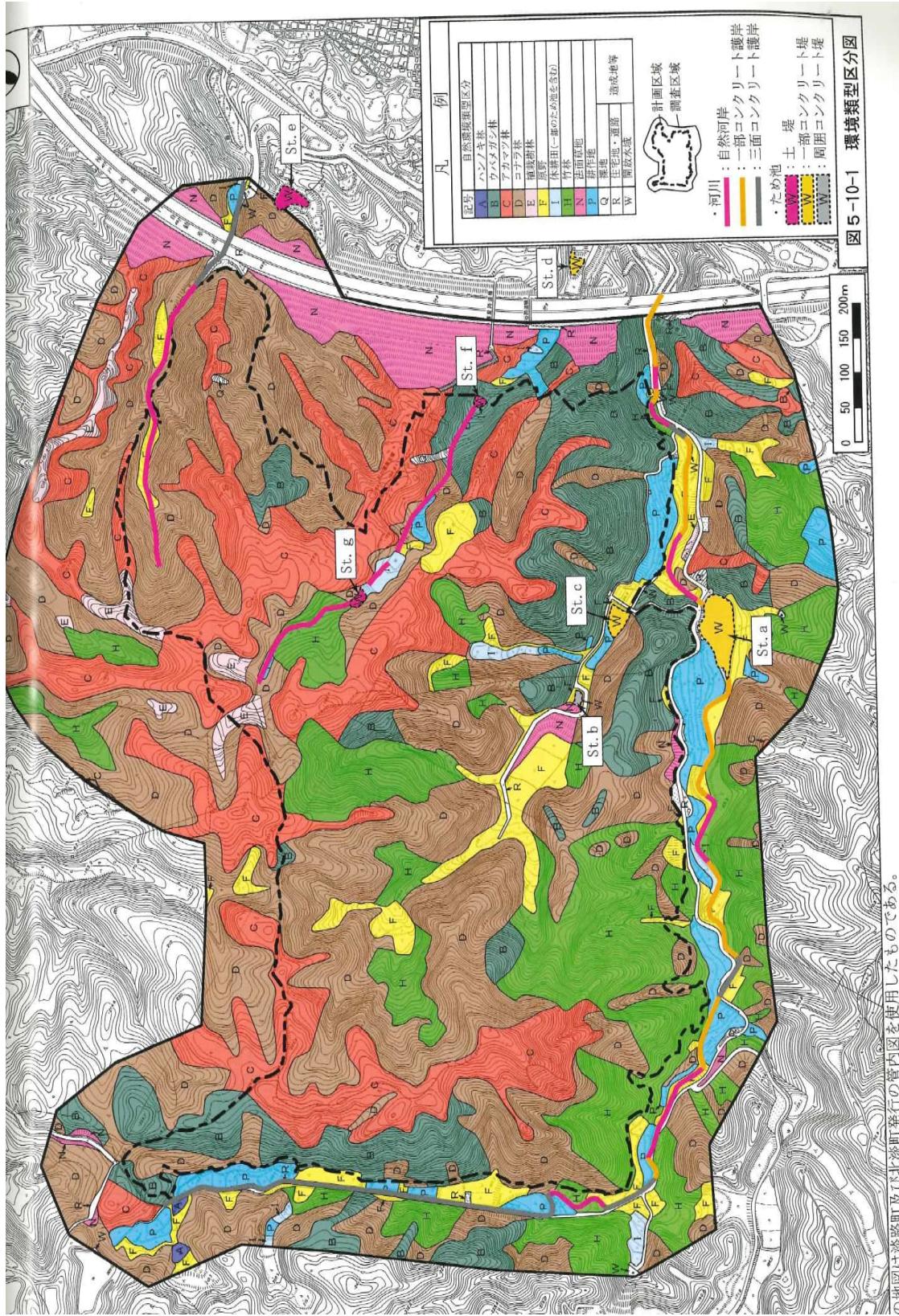
リノベーション方針図	7
------------	---

3 管理水準書（資料集）

(1) 施設図	8
(2) 自然樹林（林地）管理図	9
(3) 高木管理図	10
(4) 芝地草地管理図	11
(5) 清掃区域図	12

1 環境影響評価書（平成14年）

（1）環境類型区分図



(2) は虫類調査ルート図

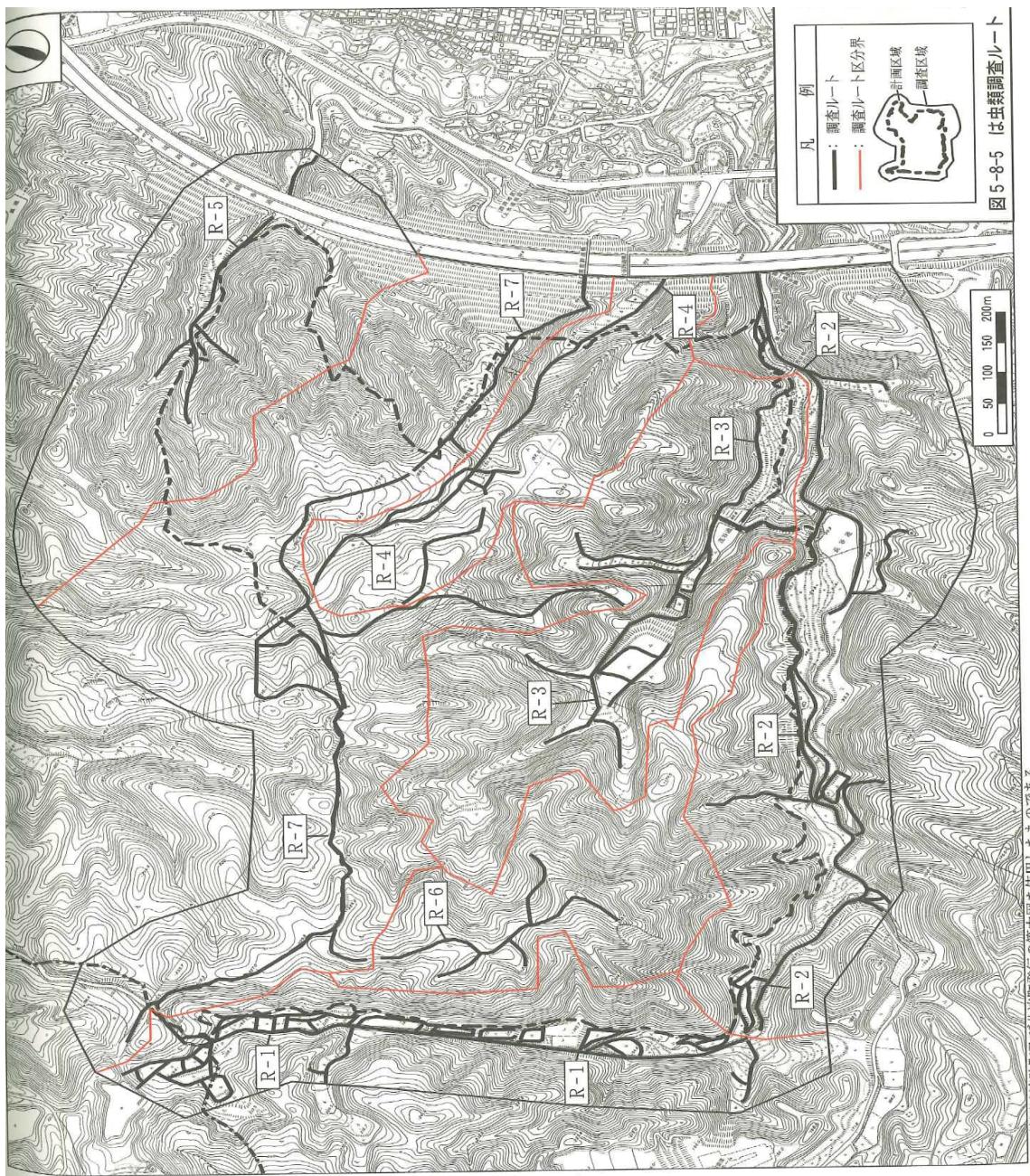


図 5-8-5 は虫類調査ルート

表 5-8-9 は虫類調査結果

目名	科名	種名	調査ルート別確認内容							聞き取り調査	
			谷筋ルート				尾根ルート				
			R-1 (長谷川上流)	R-2 (長谷川中流)	R-3 (芦谷池上下流)	R-4 (片谷川上流)	R-5 (藤八川上流)	R-6 (南北尾根)	R-7 (東西尾根)		
カミ	イシガメ	クサガメ	○	—	○	—	—	—	—	○	
		イシガメ	○	—	○	—	—	—	—		
トカゲ	トカゲ	トカゲ	—	○	○	○	○	—	—	○	
		カナヘビ	○	○	○	○	○	—	○		
ヘビ	シマヘビ	シマヘビ	○	—	○	○	—	—	—		
	アオダラ	アオダラ	○	—	—	—	—	—	—		
	ヤカガシ	ヤカガシ	○	—	—	—	—	—	—	○○○○	
	タツリヘビ	マムシ	○	—	—	—	—	—	—		
2目	5科	8種	2目4科6種	1目3科3種	2目4科5種	1目3科3種	1目2科2種	—	1目1科1種	2目4科6種	

(備考) 1. 分類は「日本産野生生物目録—脊椎動物編一」(環境省編 1993年)に準拠した。

2. *聞き取り調査では、カメ類(クサガメ、イシガメ)及びトカゲ類(トカゲ、カナヘビ)の区別が明確でなかったため、それぞれカメ類、トカゲ類の1種とした。

(3) 両生類調査ルート図

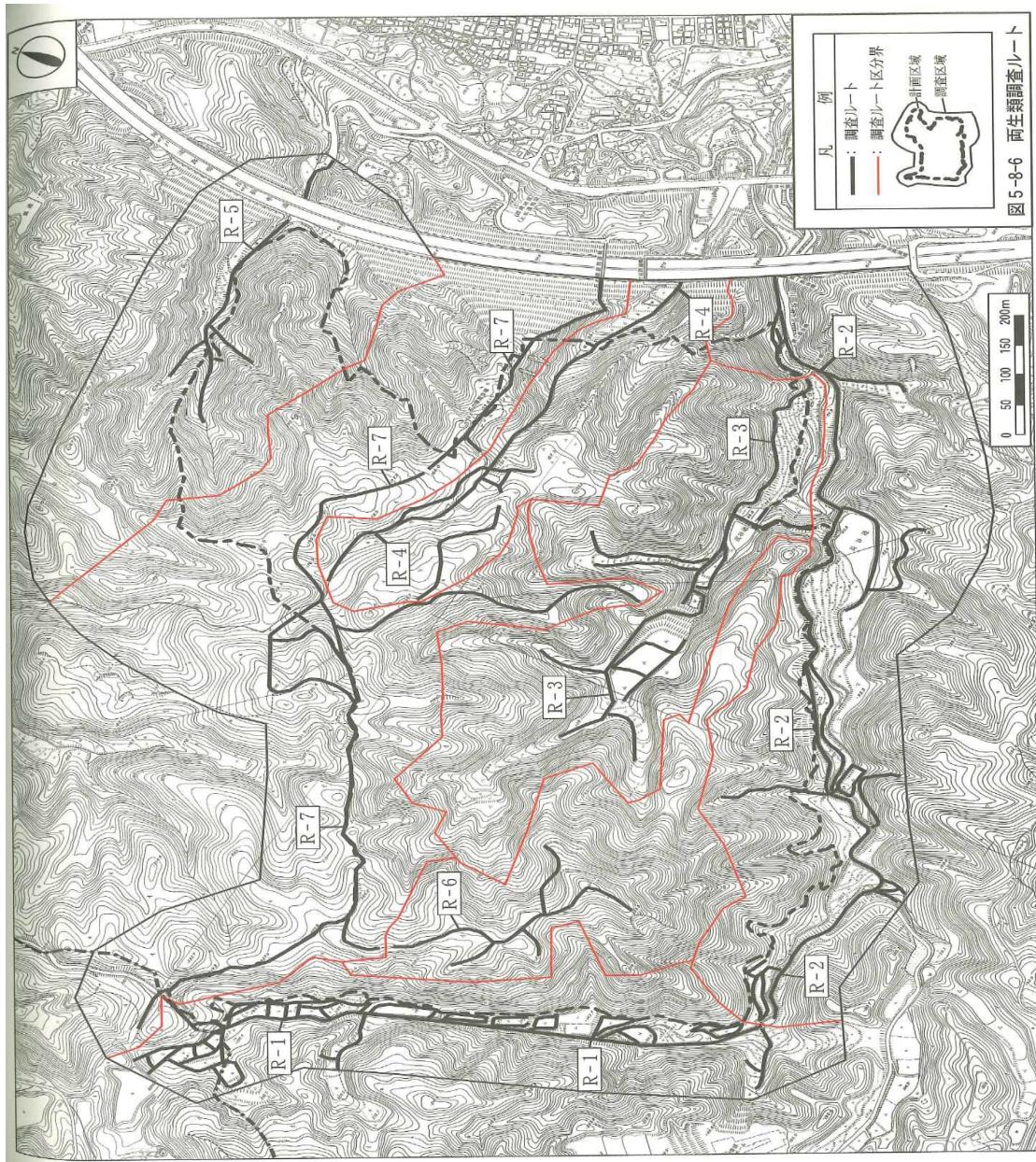


図 5-8-6 両生類調査ルート

表 5-8-11 両生類調査結果

目名	科名	種名	調査ルート別確認内容							聞き取り調査	
			谷筋ルート				尾根ルート				
			R-1 (長谷川上流)	R-2 (長谷川中流)	R-3 (渡道池上中流)	R-4 (片谷川上流)	R-5 (藤川上流)	R-6 (南北尾根)	R-7 (東西尾根)		
サソリ科	サソリ	サソリ	-	○	-	○	-	-	-	○	
ヒキガエ科	ヒキガエ	ヒキガエ	-	-	-	○	-	-	-	○	
アガエ科	アガエ	アガエ	○	○	○	○	○	-	○	○	
アガエ科	ヒキガエ	ヒキガエ	○	○	○	○	-	-	-	○	
	トキガエ	トキガエ	○	-	○	-	-	-	-	○	
	大ガエ	大ガエ	○	○	○	-	-	-	-	○	
	カジガエ	カジガエ	○	○	○	○	○	-	-	○	
	アガエ	アガエ	○	-	-	-	-	-	-	-	
2目	5科	8種	1目3科6種	2目3科5種	1目2科5種	2目4科5種	1目2科2種	-	1目1科1種	2目4科6種	

(備考) 分類は「日本産野生生物目録－脊椎動物編－」(環境庁編 1993年)に準拠した。

(4) 昆虫類調査ルート図



この地図は淡路町及び北淡町発行の管内図を使用したものである。

(5) 水生小動物調査地点図

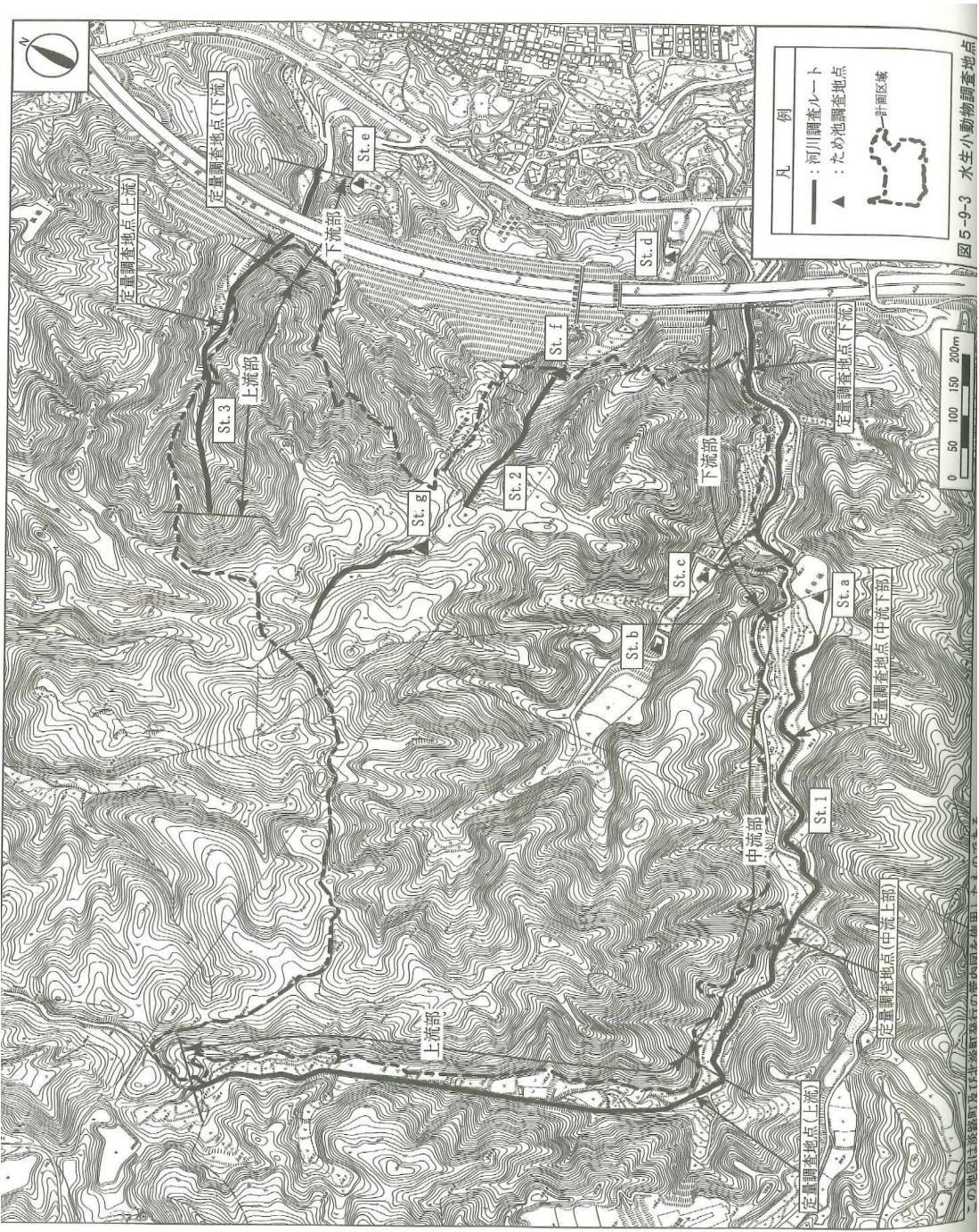
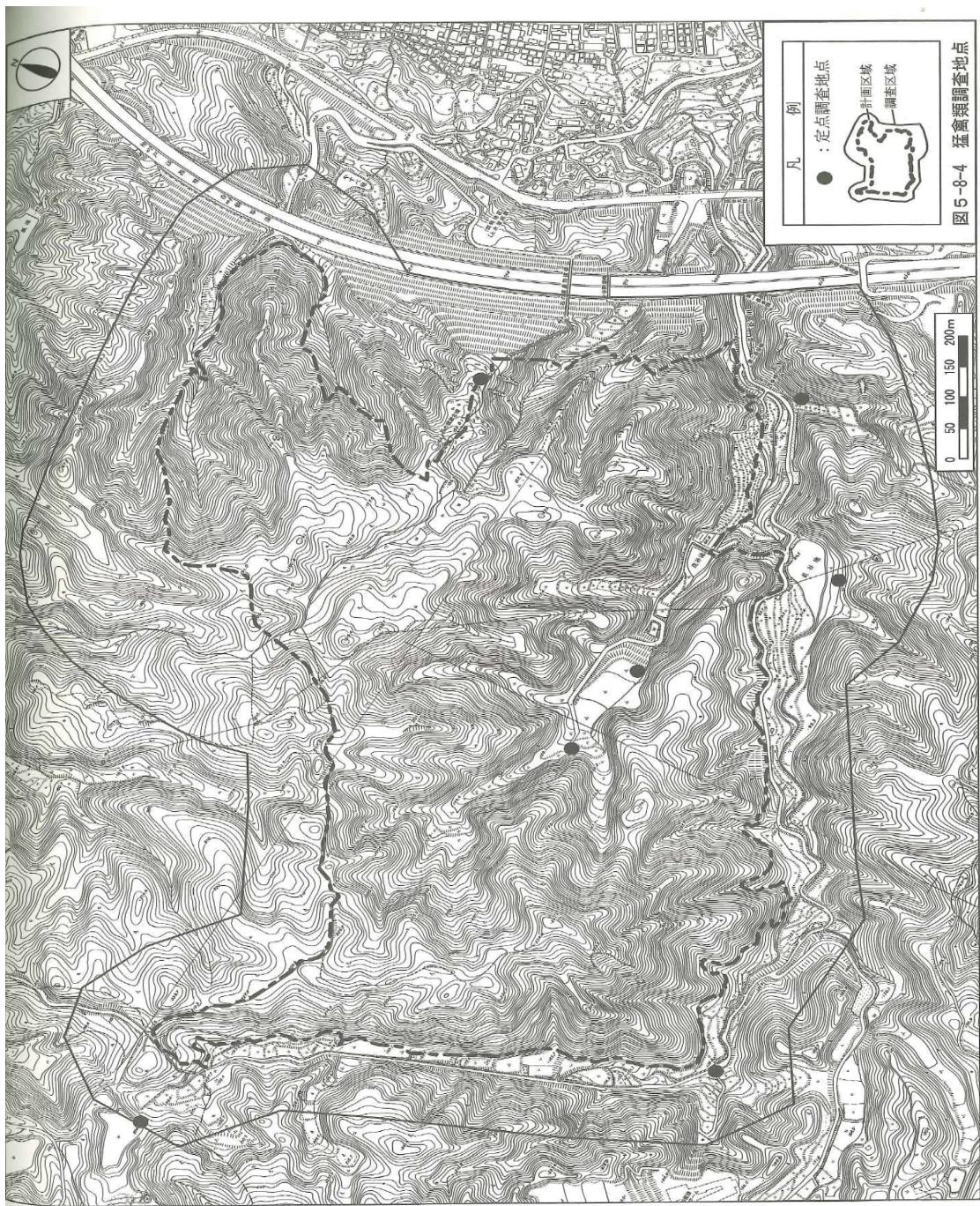


表 5-9-18 貴重な水生生物の確認状況

表5-9-16 實量な生木生虫の確認状況						
分類	種名	分布	生態	等	確認状況	等
昆蟲類	コオイムシ	本州、四国、九州	カメムシ目コオイムシ科の生木昆蟲。体長17~20mm、黃褐色ないしは暗褐色で、ぼかほ形の扁平なからだをしている。5~6月ごろ、雌は雄の背上に産卵する習性がある。雄は黃褐色の卵を背負つており、水のなかでもよく目立つ。水田や池沼の静水にすむ。	夏季調査で確認されており、成虫5匹と2~3齢幼虫2匹を捕獲したほか、背面に卵を背負った成虫由来で繁殖しているものと考えられる。	長谷町の長谷川流入付近に	あるコンクリートの護岸で かなり小さく1個体が採集された。
貝類	コシダカヒメモノ アラガイ	日本全国	モノアラガイやメモノアラガイに比べると螺旋はやや高く、殻口は最高の1/2くらいで前2種にくらべて小さく、殻模もやや厚。山間部では少なく、平野を流れている河川やクリークに多くみられる。ヒメモノアラガイと混生していることもある。また、しばしば、クリークや人工池などのヨンクリーク壠などに付着していることもある。			

(6) 猛禽類調査地点図

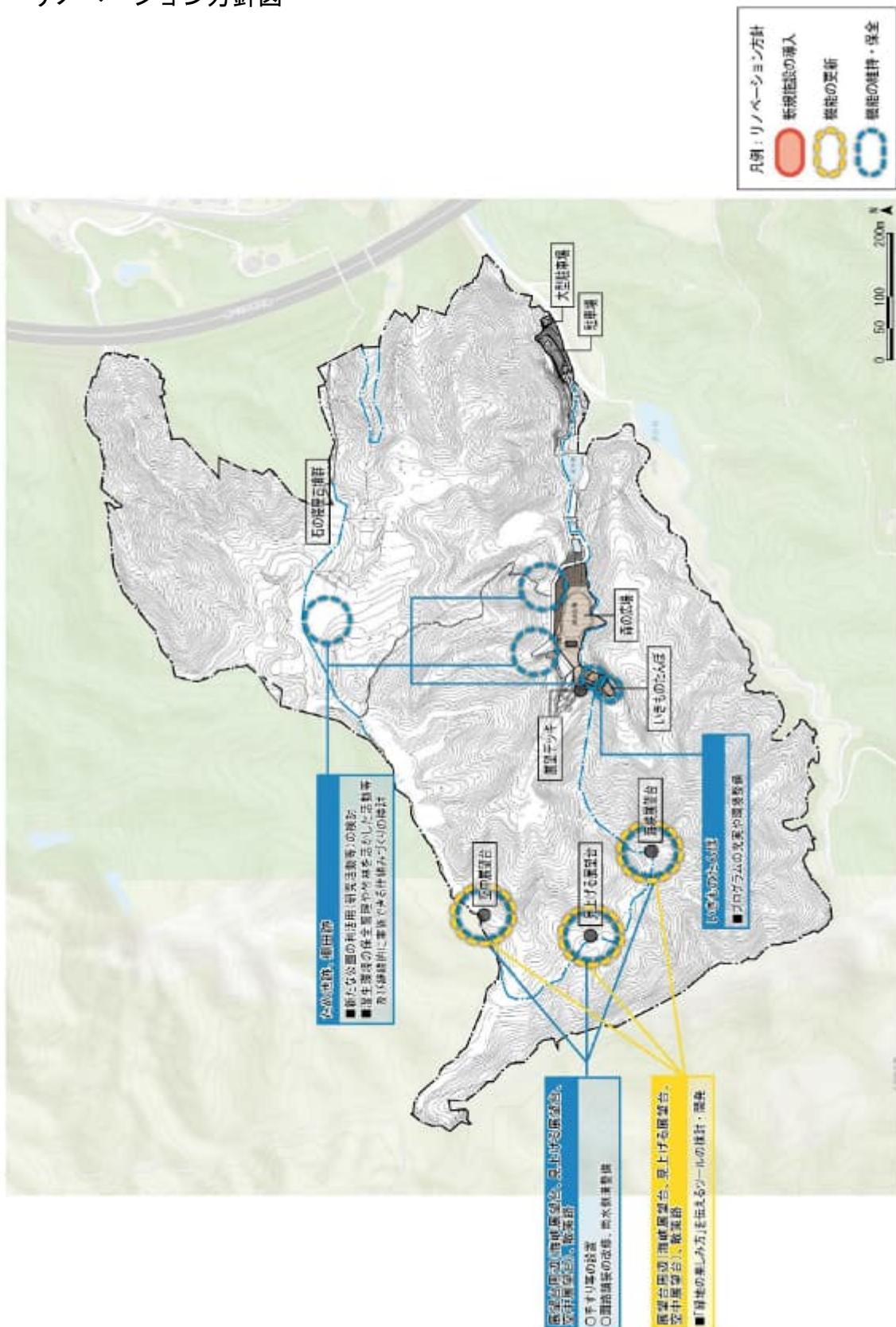


この地図は終路町及び北後町発行の管内図を使用したものである。

表 5-8-7 猛禽類調査結果

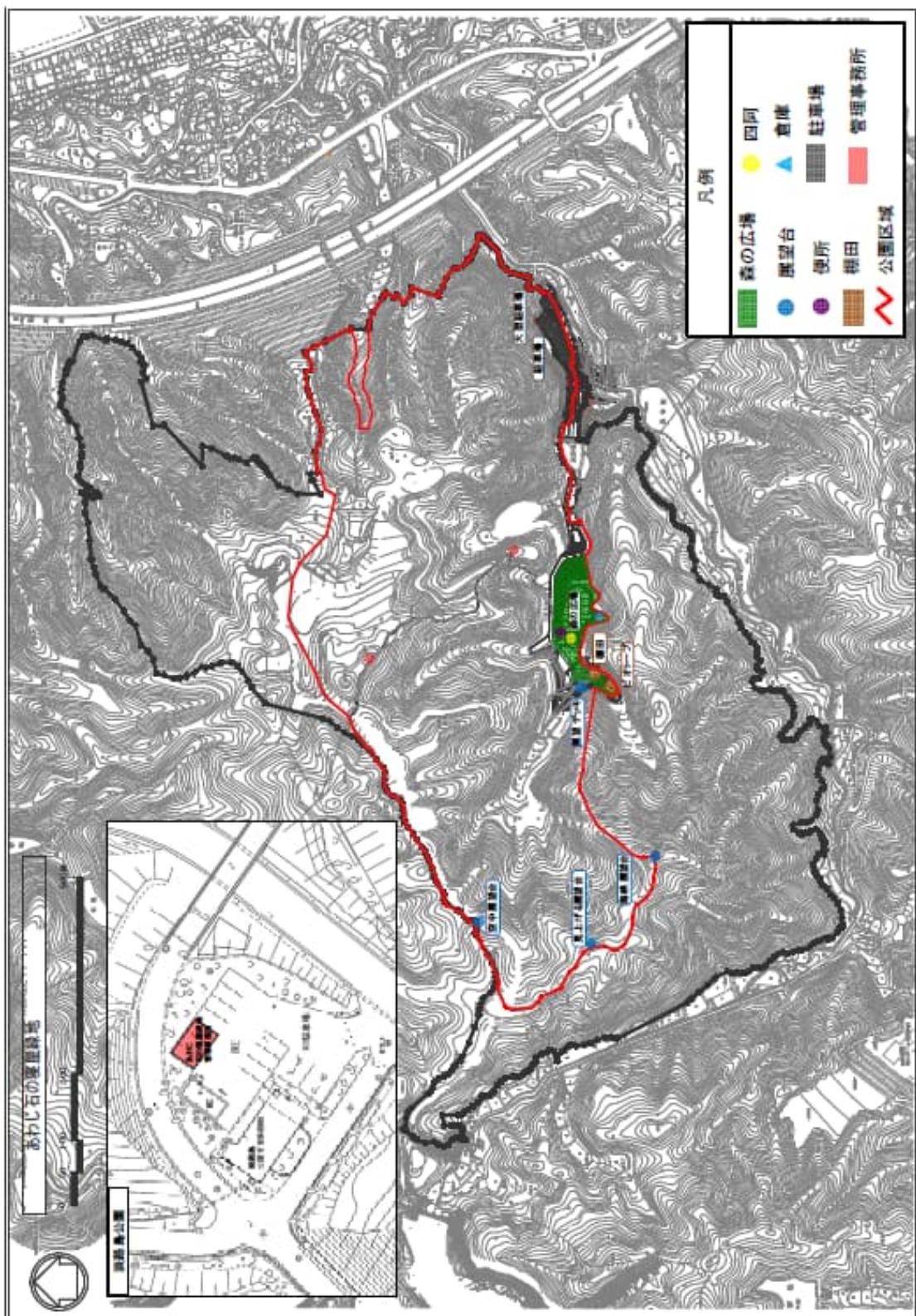
種名	渡り区分	確認日 (出現回数)			繁殖行動 (テ"イス"ブ"レイ、給餌、餌運び) の有無 (回数)	備考
		2月	5月	6月		
ミサゴ	留鳥	7 (2)、8 (2)	29 (1)	21 (1)	×	探餌行動
ハチクマ	夏鳥	—	28 (7)、29 (7)	—	×	探餌行動
オオタカ	留鳥	6 (4)、7 (3)、8 (4)	—	—	○ (2)	テ"イス"ブ"レイ(平行飛行)
ツミ	留鳥	—	28 (2)、29 (3)	—	×	探餌行動
ハイタカ	冬鳥	6 (6)、7 (4)、8 (9)	—	—	×	探餌行動
ノスリ	冬鳥	6 (10)、7 (4)、8 (22)	—	—	×	探餌行動
サシノバ	夏鳥	—	28 (58)、29 (35)、30 (23)	19 (9)、20 (28)、21 (57)	○ (36)	給餌、餌運び、警戒、ハンティング、探餌行動
ハヤブサ	留鳥	6 (4)、7 (16)、8 (1)	29 (1)	19 (1)	×	ハンティング、探餌行動

2 県立都市公園リノベーション計画 リノベーション方針図

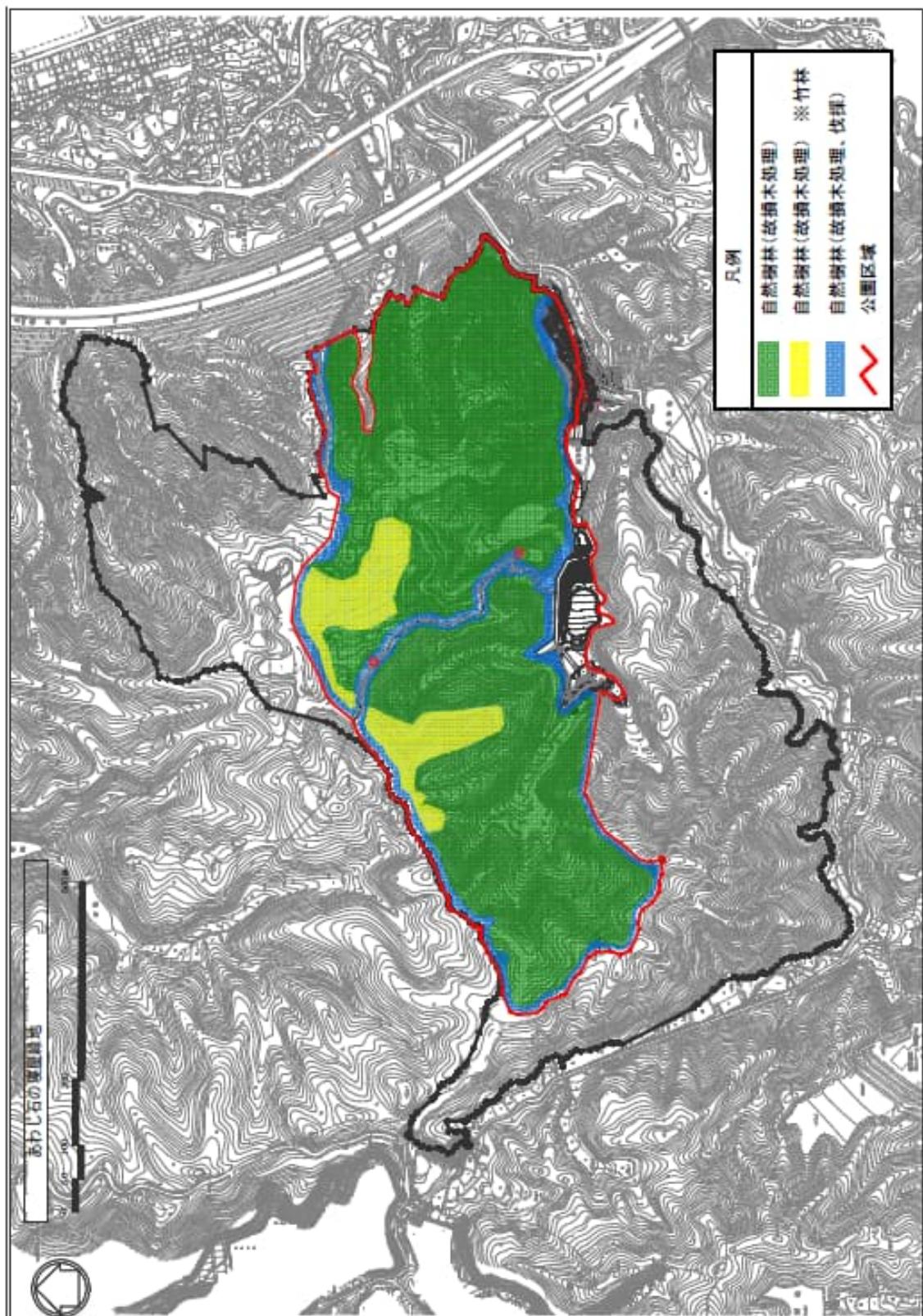


3 管理水準書（資料集）

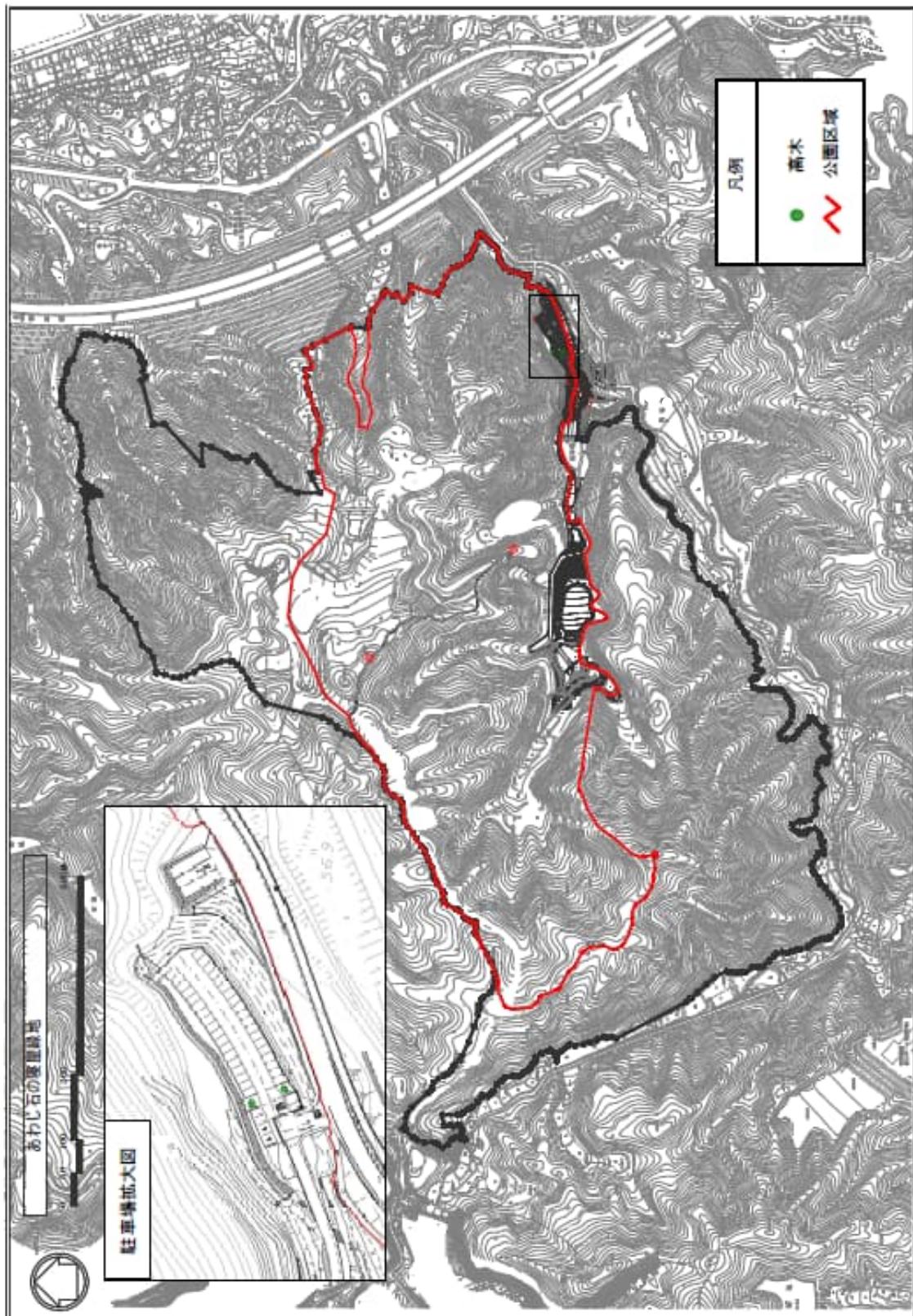
（1）施設図



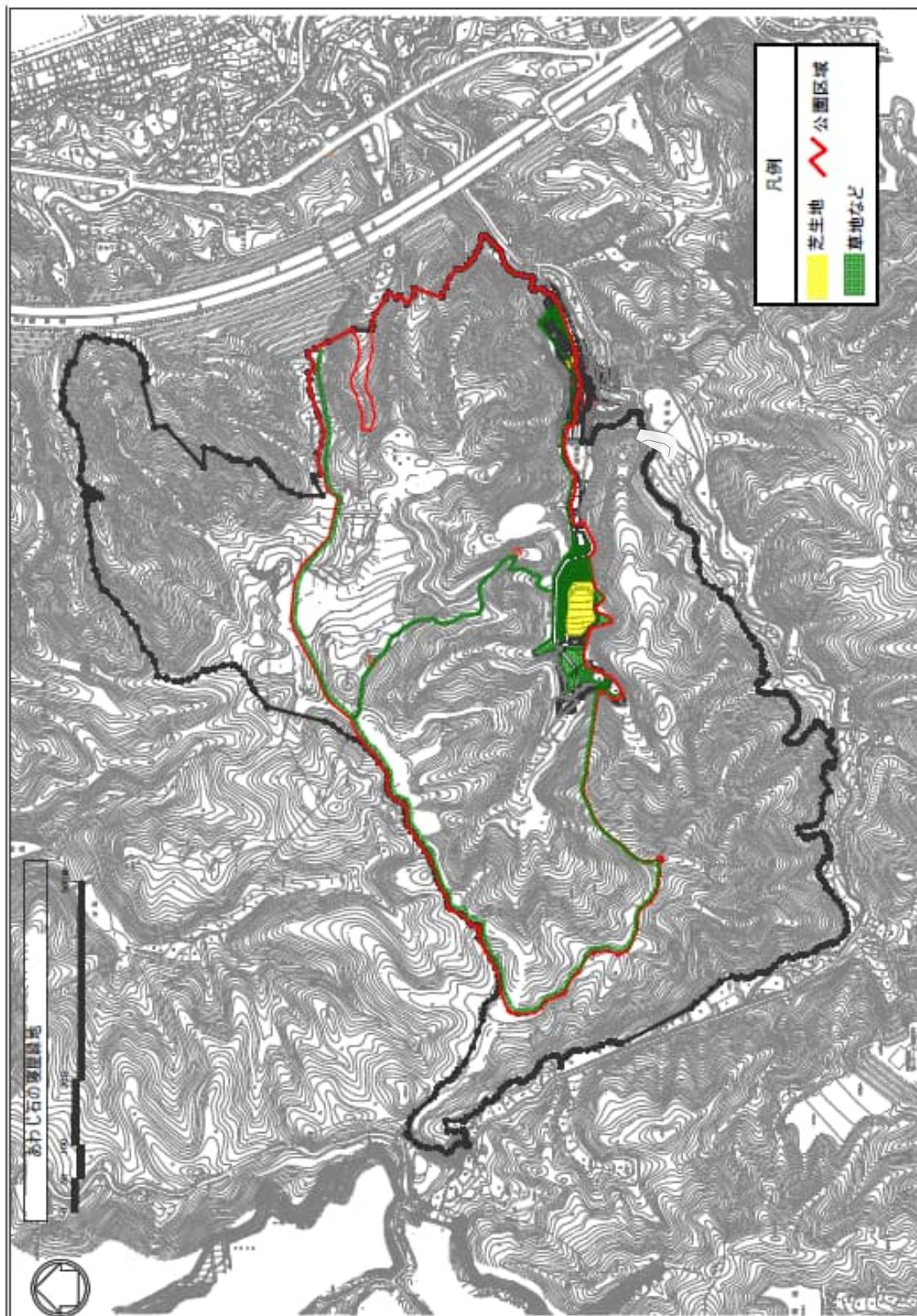
(2) 自然樹林(林地)管理図



(3) 高木管理図



(4) 芝地草地管理図



(5) 清掃区域図

